

----- 1 行アケ -----
 ----- 1 行アケ -----

論文執筆要綱 (中央, 12 ポイント, ゴシック)

----- 1 行アケ -----
 ○○ ○○¹ ○○ ○○²(中央, 10 ポイント)
 ----- 1 行アケ -----

Typing Instructions for Your Paper (中央, 12 ポイント, 太字)

----- 1 行アケ -----
 ○○○○ ○○○○¹ and ○○○○ ○○○○²(中央, 10 ポイント)
 ----- 1 行アケ -----
 ----- 1 行アケ -----

Abstract(左揃, 10 ポイント, 太字)

本会の投稿論文は邦文あるいは欧文とする。以下に邦文による論文原稿の書き方を示す。欧文については 5 章「欧文論文の書き方」を参照されたい。本文章の体裁は「論文執筆要綱」の文章スタイルに則っている。論文中の句読点は「, 」, 「. 」を用いる。邦文論文中の和文は明朝体を英文は Times Roman を標準とする。表題, 著者名, 見出しなどを除いてすべて, 9 ポイントとする。上部より 2 行あけ和文表題(中央, 12 ポイント, ゴシック), 著者名(中央, 10 ポイント)に続けて, 欧文表題(中央, 12 ポイント, 太字), 著者名(中央, 10 ポイント)を書く。著者名の右肩に番号を付け, 所属機関名等(左揃え, 8 ポイント)と対応させる。著者の所属機関名等は 1 ページ目左段の下にまとめて書く。著者名の後, 2 行あけて 150 ワード程度の英文アブストラクトを書き, その下に 1 行あけて, 1 行以内に 5 つのキーワード(最大数)を書く。これらの左右の余白は, 30mm とする。アブストラクトの行送りは 13 ポイントとし, 書き出しには 5mm のインデントをもうける。途中改行せずに書く。アブストラクトおよびキーワードは 9 ポイントの Times Roman を用いる。キーワードの後, 3 行あけて本文を書き始める。

----- 1 行アケ -----

Keywords: (左揃え, 9 ポイント, 太字) 書き方は 5 章「欧文論文書き方」の表題の書き方に倣う。

----- 1 行アケ -----
 ----- 1 行アケ -----
 ----- 1 行アケ -----

1. 論文の長さ(10 ポイント, ゴシック)

論文の長さは標準 6 ページとし, その中に, アブストラクト, 図, 表, 参考文献が含まなければならない。

----- 1 行アケ -----

2. 論文の構成(10 ポイント, ゴシック)

論文は, 以下に示す順番で執筆すること。

- 表題
- アブストラクト
- キーワード
- 緒言, 序論 等
- 記号(必要な場合のみ)
- 主文
- 結言, 結論 等
- 謝辞(必要な場合のみ)
- 参考文献

----- 1 行アケ -----

3. 論文の印字(10 ポイント, ゴシック)

論文原稿はそのまま白黒のオフセット印刷を行うので, 印字の品質は著者が自ら十分配慮しなければならない。

3.1 文章(9 ポイント, ゴシック)

論文は, 白の A4 用紙(210mm×297mm)にレーザープリンター等で印字する。上下の各余白は 25mm, 左右の各余白は 20mm とする。記号表以降の文章は 2 段組(段の幅 81.5mm, 段間隔 7mm)とする。このとき, 各段 56 行(行送り 13 ポイント), 1 行 25 文字を標準とする。記号表は必要に応じて緒言の次に書く。ただし, 見出しは「記号」とし章の番号を振らないこと。

見出しは章, 節, 項の順にポイントシステムを用い, 書体はゴシックとし, それぞれ 10, 9, 9 ポイントとする。すべて左揃えとする。また, 章の見出しの前は 1 行あける。

3.2 式(9 ポイント, ゴシック)

式はすべて中央揃えとし, 右端に(1)のように通し番号をふる。式の前後は 1 行あける。

----- 1 行アケ -----

$$\nabla \bullet \vec{u} = -\frac{1}{\rho} \frac{D\rho}{Dt} \tag{1}$$

----- 1 行アケ -----

3.3 図および表(9 ポイント, ゴシック)

図および表は, 段組の幅内に中央揃えする。ただし, 必要であれば 2 段にわたってもかまわない。

1 所属機関名, 住所 (左揃え, 8 ポイント)
 2 ○○○○○○○○○○, 〒xxx-xxxx ○○○○○○○○○○1-10-40

3.3.1 図(9 ポイント, ゴシック)

図は, その下部に欧文で Fig. 1 Sample figure(中央揃え)のように通し番号および図名を記す. また, 図中の文字は全て欧文とし, 最初のワードの頭文字のみを大文字とする. 文字の大きさは最小でも 5 ポイント以上でなければならない. 図の前後は 1 行あける.

----- 1 行アケ -----

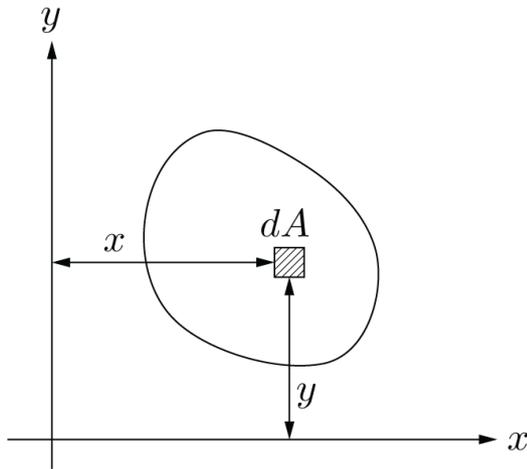


Fig. 1 Sample figure

----- 1 行アケ -----

3.3.2 表(9 ポイント, ゴシック)

表については, その上部に欧文で Table 1 Sample table のような通し番号および表名を記す. また, 表中の文字は全て欧文とし, 最初のワードの頭文字のみを大文字とする. 文字の大きさは最小でも 5 ポイント以上でなければならない. 表の前後は 1 行おける.

----- 1 行アケ -----

Table1 Sample table

Mach number	Number of grids	Time step
1.10	3481	48200
1.10	13804	94300
1.20	13804	100200
1.30	13804	85210

----- 1 行アケ -----

4. 参考文献の書き方(10 ポイント, ゴシック)

本文中の引用箇所には, 「○○, □□^{(1)~(3)}によれば, 」のように右肩に小括弧をつけ, 通し番号を記入する. 文献は本文末尾にまとめて書く. ただし, 見出しは「参考文献」とし章の番号を振らないこと. 講演論文集および雑誌の場合は, (番号) 著者名, 論文表題, 雑誌名, 巻数, 号数, (西暦による発行年), ページとする. 書籍の場合は, (番号) 著者名, 書籍名, 巻数, (西暦による発行年月), ページ, 発行所とする. ただし, 1 巻のみの場合は巻数を省略する.

[例]

- (1) ○○○○, □□□□, 論文表題, ○○学会論文集, Vol. xx, No. 555, (2000), pp. 111-116.
- (2) ○○○○, □□□□, 数理科学, (2000), pp. 123-124, 東電大出版

5. 欧文論文の書き方(10 ポイント, ゴシック)

欧文論文の体裁は邦文論文のそれに従う. フォントは Times Roman を標準とし, 表題, 著者名, 見出しなどを除いてすべて 9 ポイントとする. 表題, 見出しは太字を用いる. 行送りは 13 ポイントとする. また, 和文表題等は省略する.

表題は冠詞, 接続詞, 前置詞以外の単語の頭文字は大文字とする. ハイフンでつながれている場合も同様である. ただし, 4 文字以上の冠詞, 接続詞, 前置詞については頭文字を大文字とする.

著者名は姓名とも略さずに書き, 「Ichiro SUURI」のように姓はすべて大文字とする. 所属機関名は公式の表示で書き, 最後に Japan を記入する.

本文の書き出しには, 5mm のインデントをもうける.

邦文文献には必ず(in Japanese)を雑誌名あるいは書籍名の後に付記する.

[例]

- (3) Xxxxx, Y. and Yyyy, X., Title of Paper, Trans. Soc. Mech. Eng., (in Japanese), Vol. 55, No.444, (2000), pp. 111-116.